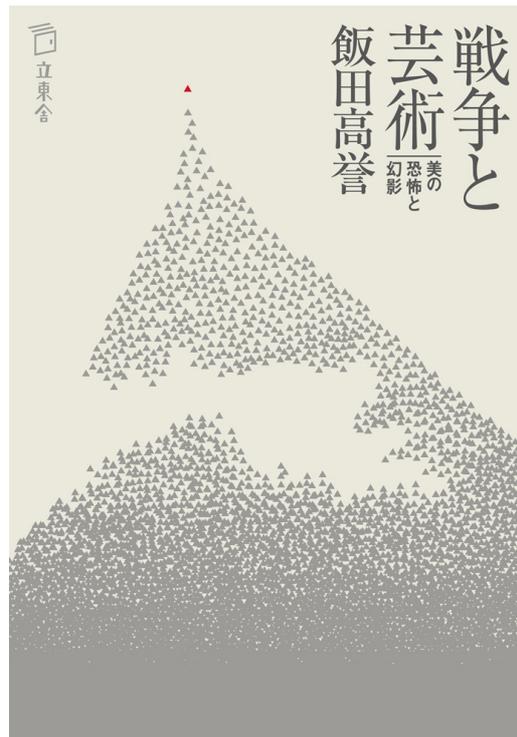


各 位

2016年3月9日  
株式会社リットーミュージック

坂本龍一氏推薦！ 立東舎書籍『戦争と芸術 美の恐怖と幻影』、3月24日発売  
フジタからリヒターまで、芸術作品に表された戦争の姿を解剖する



インプレスグループで音楽関連の出版事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古森優）は、2016年3月24日、飯田高誉による『戦争と芸術 美の恐怖と幻影』を立東舎より発売します。

●坂本龍一氏 推薦コメント

これらの戦争画、あるいは戦争に関する作品は見るものを深く考えさせる。

どうして人間はこれほどまでに闘いを好むのか？

戦争を描いた藤田嗣治の絵は、単に戦意を高揚させるプロパガンダでしかなかったのか？

ぼくは常々、芸術とは死んだ者への哀惜の念から生まれると思っている。ネアンデルタール人が死者に花びらをそえたように。もう永久に帰ってこないものへの呼びかけであり、永遠に対する儂い希求なのだ。

永遠に対する憧れ、そしてそれを否定するかのような闘いへの欲求、人間のもつこのような両義性がまさに芸術を生むのだろう。

坂本龍一

京都造形芸術大学国際藝術研究センター所長として著者自身がキュレーターを務めた「戦争と芸術」展は、同大学アートスペースにて4回にわたって企画され、藤田嗣治、中村研一、横尾忠則、草間彌生、杉本博司、宮島達男、山口晃、Mr. (ミスター)、トマス・デマンド、ダレン・アーモンド、ポール・ヴィリリオなど、古今東西のアーティストの作品を展示し、大きな話題となりました。本書は、この「戦争と芸術」展のカタログを元に19アーティストの38作品を厳選して掲載、そこに表された戦争の姿を解明していきます。また、浅田彰、針生一郎、田原総一郎、Mr. (ミスター)、相澤淳(防衛省防衛研究所)らと著者の鼎談・対談も収録し、「戦争と芸術」を多角的に検証。太平洋戦争時の戦争画だけではなく、広い視野で「戦争と芸術」の間にある関係性を現代に接続して明らかにします。

## 《CONTENTS》

### ■第一章：戦争画

### ■第二章：終わらない戦後

### ■第三章：イメージにおける戦争

### ■「美の恐怖と幻影」戦争画十選

対談・鼎談：鼎談「封印された戦争画」針生一郎＋浅田彰＋飯田高誉

対談「戦争と芸術」田原総一郎＋飯田高誉

鼎談「私たちにとって戦争のリアリティとは？」Mr.＋相澤淳＋飯田高誉

### ■付録：年表 世界・国内の出来事と戦争・核問題

### ■図版掲載作品

藤田嗣治《南昌新飛行場爆撃ノ図》《南昌飛行場の焼打》《サイパン島同胞臣節を全うす》《重爆》

中村研一《神風特別攻撃隊の海軍機の活躍》《マレー沖海戦》《北九州上空野辺軍曹機の体当たりB29二機を撃墜す》

草間彌生《戦争》《無名戦士の墓》《戦争の津波》

細江英公《写真絵巻-死の灰》《へそと原爆》

中西夏之《人間の地図》

杉本博司《旭日照波》《アインシュタインタワー》《ワールドトレードセンター》

横尾忠則《戦後》《神風恍惚切根之図》《1945年、夏》

宮島達男《アウシュビッツへのタイム・トレインNo. 2》

ダレン・アーモンド《夜＋霧》

太郎千恵蔵《隅田川 元雅に捧ぐ、あるいは WTC》

トマス・デマンド《Attempt》

山口晃《日清日露戦役擬畫》より《二十八サンチ砲》

大庭大介《究極の武器 (モンスター) 》

ヤノベケンジ《アトムスーツプロジェクト：大地のアンテナ》

名和晃平《PixCell-Toy-Machine Gun(SIG552)》《PixCell-Toy-Machine Gun(COMMAND)》

戦闘機プロジェクト《日常》《コンセプチュアルコーヒー》《MEMO》

Mr.《スターティングオーバー》《まだまだ若いチームです》《誰も死なない》《うさぎ組チームのサバイバルゲーム服、防具、靴、拳銃、拳銃鞆、小物》

AES+F《LAST RIOT 2, PANORAMA #4》

ゲルハルト・リヒター《September》《Dead》

《立東舎書籍》

戦争と芸術

□著者：飯田高誉

□定価：(本体 2,500 円+税)

□仕様：A5 判/288 ページ

□発売：2016 年 3 月 24 日

□発行：立東舎（発売：リットーミュージック）

ISBN 978-4-8456-2775-2

書籍詳細 <http://rittorsha.jp/items/15317411.html>



飯田高誉／著者プロフィール

東京大学総合研究博物館小石川分館にて現代美術シリーズを立ち上げ、カルティエ現代美術財団(パリ)にて 杉本博司、横尾忠則展キュレーション。京都造形芸術大学国際芸術研究センター所長、慶應義塾大学グローバルセキュリティ講座「政治とアート」の講師、コムデギャルソン[アトスペース Six]アートディレクターなどを務め、青森県立美術館美術統括監を経て、現在、インディペンデント・キュレーター 森美術館理事

【株式会社リットーミュージック】 <http://www.rittor-music.co.jp/>

□所在地：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング □設立：1978 年 4 月 10 日 □資本金：1 億円 □決算期：3 月 31 日 □従業員数：93 名(2014 年 3 月 31 日現在) □代表取締役：古森優 □事業内容：音楽関連出版事業

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：関本彰大、証券コード：東証 1 部 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 営業統轄部出版営業部 宣伝広報 市原  
Tel: 03-6837-4728/ E-mail: [pr@rittor-music.co.jp](mailto:pr@rittor-music.co.jp)